

居安思危 vol.4

平成 26 年 9 月 4 日
大阪府立大手前高等学校
発行 大川 香理

～大手前防災通信～

居安思危 思則有備 有備無患

安きに居りて危うきを思う 思えばすなわち備えあり 備えあれば患い無し

(出典「春秋」の注釈書「春秋左氏伝」)



今年の夏は大雨による土砂災害が多く発生し、残念ながら大きな被害が出た地区もありました。

みなさんは今年の夏休み、危険を感じることなく安全に楽しく過ごせましたか？

さて、明日9月5日は「大阪880万人訓練」が実施されます。午前11時に地震発生、午前11時03分に大津波警報が発表されたという想定です。

携帯電話、スマートフォンの対応機種ではエリアメール/緊急速報メールを自動的に受信し、マナーモードにしているも鳴動します。また、エリアメール/緊急速報メールに対応していない機種をもっている人でも、「お

おさか防災情報メール」や「Yahoo!防災速報」を登録していれば同様のメールを受け取ることができます。

緊急地震速報を聞いたとき、みなさんはどのように行動しますか？

非常時には間違った情報やデマに惑わされたり、正常性バイアスや多数派同調バイアスが働き、誤った判断に陥ったりすることがあります。また、頭が真っ白になってしまったり、パニックになってしまったりすることも多くあります。

正常性バイアスとは人間が日々の生活を送る中で生じるさまざまな変化や新しい出来事に心が過剰に反応し、疲弊しないためにある必要な働きですが、度が過ぎてしまうと本当に危険が迫った場合や非常事態の際であっても、それを異常と認識せずに「大丈夫だ」と思ってしまふ認知のことです。また、多数派同調バイアスとはなんとなく大勢の人がすることが正しいと根拠もなく認識してしまうことのことです。

大阪に暮らしていると大きな災害に遭った経験が少なく正常性バイアスに陥ることが多いと考えられています。今までも大丈夫だったのだから、今度も大丈夫だろうと考えてしまう傾向が強いのです。そして避難行動を取る人が少なくなり、多数派同調バイアスにより避難の遅れが生じてしまう危険性が高くなります。

非常事態を乗り越え、命を守る行動を取るには、正しい情報に基づき、すばやく的確な判断力が必要になります。ぜひみなさんもこの機会に地震や津波が発生したらどのように行動したらよいか、身の安全を図る方法を考えてみてください。

第3回

大阪880万人訓練

Osaka 8.8million drill

平成26年
9月5日(金)
訓練一斉
実施!!

いざというときに慌てないために

日ごろから備えておきたいこと

- ☆ 安全な場所を確認しておきましょう。
- ☆ 停電に備えてラジオや懐中電灯の準備をしましょう。
- ☆ 救急医療品や消火器の準備はできていますか？



- ☆ 家具の転倒や落下の防止措置はできていますか？
- ☆ 住宅の耐震化も進めておくと安心です。
(地域ぐるみでするのが効果的です。)
- ☆ 避難場所・避難路の確認をしておきましょう。
- ☆ 家族と離れ離れになったときの
連絡方法と会う場所の確認をしておきましょう。

非常持ち出し品の準備はできていますか？

避難場所での生活に最低限必要な品をリュックなどに詰めて、いつでも持ち出せるように準備しておきましょう。

非常持ち出し品チェック表

飲料水	<input type="checkbox"/> 水一人3リットル×3日分	衣類	<input type="checkbox"/> 肌着(1から2着)
食料品	<input type="checkbox"/> 缶詰(缶切り)		<input type="checkbox"/> 防寒着
	<input type="checkbox"/> インスタントラーメン(カップ麺)	日用品	<input type="checkbox"/> ちり紙、タオル、バスタオル
<input type="checkbox"/> ビスケット、乾パン、チョコレート	<input type="checkbox"/> 生理用品		
電気器具	<input type="checkbox"/> 懐中電灯		<input type="checkbox"/> マッチ、ろうそく、携帯用燃料
	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ		<input type="checkbox"/> 軍手、厚手の靴下、カイロ
	<input type="checkbox"/> 予備の電池	<input type="checkbox"/> ロープ、笛、レインコート	
医療品	<input type="checkbox"/> 常時服用している薬、常備薬	乳児等	<input type="checkbox"/> ミルク、哺乳びん
	<input type="checkbox"/> 消毒液、きず薬、脱脂綿		<input type="checkbox"/> 紙おむつ、おしりふき
	ガーゼ、包帯、三角巾	その他	<input type="checkbox"/> 現金、通帳、印鑑、保険証写
	ばんそうこう など		<input type="checkbox"/> 連絡先一覧



非常持ち出し袋は定期的に中身の確認をしましょう。年に1回家族で防災について話し合う機会を作って、非常食を試食したり、古くなったものを交換したりして、いつでも使えるようにしておくとういことです。

もしも地震が起きたら・・・

**正しい情報を
聞くことが大切**



もし、学校内で地震が起これば・・・

☆ 教室では

机の下に入り、机の脚をしっかりとつかみましょう。
あわてて外に飛び出さないように！
窓側の人はできればカーテンを閉めましょう。
(ガラスの飛び散りを防ぎます。)



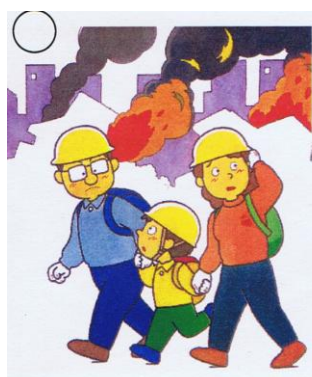
☆ 特別教室では

普通教室に比べ、書棚・収納棚・テレビ(台)・器具などの物品が多いので、自分で周りをみて判断してください。普段から自分たちが行く教室で地震が起これば、どのようにして身を守るかを考えておくといいですね。
強い地震が起これると固定されていないテレビなどが吹っ飛んでくる可能性があります。

☆ 隠れるものがない場所では

「上からものが落ちてこない」・「横からものが倒れてこない」・「物が移動してこない」場所にすばやく移動し、低い姿勢になり、カバンなどで頭を覆って頭部を保護します。

右頁に独立行政法人防災科学技術研究所の「大地震の時の心得カード」を掲載しましたので、参考にしてください。



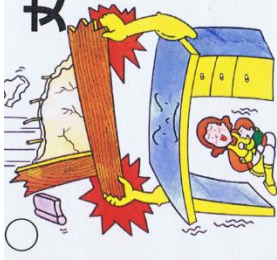
大地震の時の 心得カード

独立行政法人

防災科学技術研究所

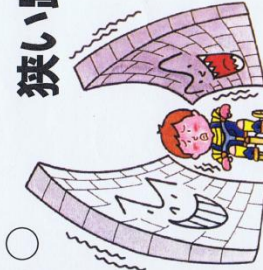
丈夫な家具等に身を寄せよう

グラツときたら、まず倒れにくく丈夫な家具等に身を寄せ、落ちついて次にとる行動を考えましょう。あわてて逃げ出すと、かえって危険です。



狭い路地、塀のわき、崖ふちをさけよう

狭い路地では、落ちてくる屋根瓦で大ケガをした例が大変多く危険です。広い道・空地・広い庭等に避難しましょう。



あわてて戸外へとび出すな

あわてて戸外にとび出すと、瓦、タイル・窓ガラスの破片等頭上への落下物が多いので、大変危険です。どうしても戸外に出る場合は、フロン等で頭を守りましょう。また、ハダシでとび出すことはきわめて危険です。



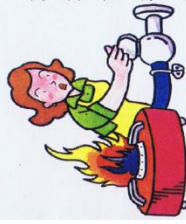
人命救助にも消火が第一

倒れた家の下敷きになっている人を救出するにも、出火しては手の施しようがありません。大地震では、まず第一に火を出さないようにしましょう。万一出火した場合には、互いに力を合わせすぐに火を消し止めることが、自分の生命はもとより多くの人の人命を救うために最も大切です。



揺れがおさまったら火の始末

大地震の時に起きた火事は、消火が非常に困難です。大地震があると、第一に、多くの場所が火元となり、電気が止まる・水道が寸断されて水が出なくなる・消防用水が得られなくなる等の悪い事態が重なって、結局大火事になるケースが多いので、地震を感じたら、火の始末をしなければいけません。



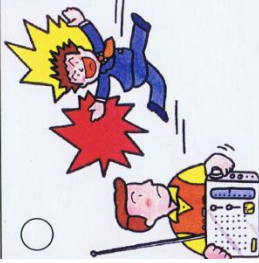
山地では山くずれ、傾斜地では崖くずれ

過去に地すべり・崖くずれの起こった所は、繰り返す同じことが起こると考えなくてはなりません。最近、人工的に傾斜地を切りくずして造られた土地や急な斜面に造られた造成地が多くなりました。これらに対しても十分な注意が必要です。



確実な情報に従い、余震をおそれるな

ラジオとテレビを通じて責任ある情報や指示がなされますから、携帯ラジオ等によって確かな情報を受け、これに従って行動してください。



われがちの行動は混乱のもと

飲料水・食糧の供給を受ける時は、われがちになりやすいので、互いに秩序を守ることが必要です。みんなが秩序を守り、力を合わせて大地震の不幸を最小限にとどめることが復興に進む第一歩です。

